



PRESS RELEASE

(報道用資料)

2005年1月17日

株式会社パスコ

“災害 GIS ボランティアネットワーク”ポータルサイトを立ち上げ ～ 迅速な情報共有化を目的に災害 GIS ボランティアネットワークを結成 ～

<http://www.gis-volunteer.net>

測量・計測と GIS (地理情報システム) のリーディングカンパニーである株式会社パスコ(本社:東京都目黒区 代表取締役社長:杉本陽一 資本金:87億 セコムグループ)は、2004年12月発表の「災害 GIS ボランティアネットワークの構築」に向け、2004年12月9日より、災害 GIS ボランティア (GIS 情報作成ボランティア) の募集を開始し、2005年1月17日 (プレ公開:2004年12月29日) にポータルサイトを立ち上げ、遠隔地から情報登録の試験運用を開始しました。

本ポータルサイトは、災害情報の集約に有効な GIS (地理情報システム) を活用し、全国に展開する GIS 情報作成ボランティア及び企業・大学ボランティアが遠隔地から高品質な情報を集約する災害 GIS ボランティアネットワークの構築を目的に、株式会社パスコが運営しています。

本活動を通して、尊い人命を守り、迅速で的確な災害復旧・復興に貢献することを目指します。さらに、GIS の認知度、GIS の重要性に対する認識の向上を目指します。

なお、本ポータルサイトは、双方向型 WebGIS 「わが街ガイド」(株式会社パスコ) および、デジタル地図データ「Pasco Fresh Map」(株式会社パスコ・インクリメント P 株式会社) を利用しています。

【背景】

1995年の阪神・淡路大震災後、ハード、ソフト面での技術的な向上や、危機管理体制の構築などが進んでいます。しかし、2004年10月に発生した新潟県中越地震や相次ぐ台風による豪雨災害等において、実際の被災現場での迅速で的確な情報収集を行うために必要なマンパワー不足等が指摘されています。

具体的には、被災現場では多くの情報がアナログで収集されており、これらの膨大な情報のデジタル化はマンパワーの不足により大幅に遅れています。これらの課題に対し、被災現場では着手できない情報集約、整理を全国に組織された災害 GIS ボランティアネットワークが速やかにデータ構築を図り、被災現場へ提供し、迅速で的確な災害復興に寄与する仕組みづくりを図ります。さらに、GIS を学ぶ学生の参加により、フレキシブルで組織的な全国ネットワークの形成を目指します。



PRESS RELEASE

【災害 GIS ボランティアネットワークの役割】

情報系オペレータ、GIS オペレータ、GIS システムエンジニア、GIS プロジェクトマネージャー等の技術者や企業、大学等の全国ネットワークを構築し、災害発生時、GIS 情報作成ボランティアとして組織的に機能することを目指します。

- ・ GIS 情報作成ボランティアの募集、登録受付
 - ・ GIS 情報作成ボランティアの作業環境の整備、提供
 - ・ 入力された各種データの公開
- など、関係各機関との連携により、実現します。

また、今後、該当地域の既存 GIS システムの運用支援や緊急対応用 GIS システムの臨時開発、導入、運用支援などへも本ネットワークの機能を拡大していく予定です。

【災害 GIS ボランティアネットワークポータルサイト】



URL <http://www.gis-volunteer.net>

【お問い合わせ先】

株式会社パスコ グループ戦略企画部広報グループ TEL : 03-3715-1048